

(1) 平成29年度 部活動に関する実態調査について 資料2-1

1・実施目的

- ①部活動の実態把握と今後の部活動の在り方について検証するため
- ②「島根県版ガイドライン」の策定に向けての資料とするため
- ③「部活動指導員」の導入に向けての参考とするため

2・県の実態調査 実施概要案（※国の調査との比較参考・3年に1度の定期調査）

※国の調査については、調査結果を各都道府県に報告するかどうかは検討中であるとの回答。
県でも具体的な調査を進める必要がある。

		国	県	運動部活動（課外活動）に関する3年に1度の定期調査
①対象校 別紙1	高校	・6校 安来・松商・平田・大田 浜田・津和野	・29校 公立高校28校 松江市立女子高	・県内全ての公立高等学校・ 中学校・小学校
	中学校	・9校 松江一・安来一・平田 加茂・浜田一・大田一 川本・鎌手・西郷	・40校	
②対象者 別紙1	校長	○	○	○ ・記載者については各学校で 決定
	生徒	○ ・1～3年 各1クラス 各学年の1の学級40名 程度、25名未満は次のク ラスで補填	○ ・2年生 男女各10名 各学校で対象生徒を決定 女子高は10名 部活動をしている、して いないに関わらず無作為 に抽出	×
	保護者	○ ・対象生徒の保護者のみ	○ ・同左	×
	教員	○ ・全教員 校長・副校長・教頭・教諭 養護教諭・栄養教諭・講師 実習助手（含非常勤）	○ ・同左（除非常勤）	×
	部活動 指導者	○ ・部活動指導員 ・外部指導者	×	×

実態調査における対象校・対象者について

資料2-2

①対象校（案）

県立高等学校
国の対象校を除き、松江市立女子高を含む29校

国の対象校
県の高等学校対象校

公立中学校
国の対象校を除き、市町村教育委員会内の生徒数に応じて学校数を決定。学校については各教育委員会で抽出（計40校）

人数	対象数
4,000人以上	4
1,000人～3,999人	3
100人～999人	2
99人以下	1

②対象者（案）

①学校数を多くし、学校内の生徒数を少なくすることとした。
②非常勤講師、外部指導者への調査は行わないこととした。

理由
学校数を増やすことで、県全体の把握につながる。生徒数を減らすことで集計の負担を減らす効果がある。対象校の全教員を対象とした調査を行うため、非常勤講師と外部指導者への調査を行わないこととした。

県立学校(含松江女子高)	
1	県立安来高等学校
2	県立情報科学高等学校
3	県立松江北高等学校
4	県立松江南高等学校
5	県立松江東高等学校
6	県立松江工業高等学校
7	県立松江商業高等学校
8	県立松江農林高等学校
9	県立大東高等学校
10	県立横田高等学校
11	県立三刀屋高等学校
12	県立三刀屋高等学校掛合分校
13	県立飯南高等学校
14	県立平田高等学校
15	県立出雲高等学校
16	県立出雲工業高等学校
17	県立出雲商業高等学校
18	県立出雲農林高等学校
19	県立大社高等学校
20	県立大田高等学校
21	県立邇摩高等学校
22	県立島根中央高等学校
23	県立矢上高等学校
24	県立江津高等学校
25	県立江津工業高等学校
26	県立浜田高等学校
27	県立浜田商業高等学校
28	県立浜田水産高等学校
29	県立益田高等学校
30	県立益田翔陽高等学校
31	県立吉賀高等学校
32	県立津和野高等学校
33	県立隠岐高等学校
34	県立隠岐島前高等学校
35	県立隠岐水産高等学校
36	県立宍道高等学校
37	県立盲学校
38	県立松江ろう学校
39	県立浜田ろう学校
40	県立松江養護学校
41	県立出雲養護学校
42	県立石見養護学校
43	県立浜田養護学校
44	県立益田養護学校
45	県立隠岐養護学校
46	県立松江清心養護学校
47	県立江津清和養護学校
48	県立松江緑が丘養護学校
	松江市立女子高

市町村立中学校			
教育委員会	所属名	人数	校数
松江	第一中	5,075	4
	第二中		
	第三中		
	第四中		
	湖南中		
	湖東中		
	本庄中		
	湖北中		
	鹿島中		
	島根中		
	美保関中		
	八雲中		
	玉湯中		
	宍道中		
安来	第一中	1,055	3
	第二中		
	第三中		
	広瀬中 伯太中		
出雲	第一中	4,892	4
	第二中		
	第三中		
	河南中		
	河南中若松分校		
	浜山中		
	南中		
	平田中		
	向陽中		
	佐田中		
	多伎中		
	湖陵中		
	大社中		
斐川東中			
斐川西中			
雲南	大東中	981	2
	海潮中		
	加茂中		
	木次中		
	三刀屋中		
奥出雲	吉田中	281	2
	掛合中		
	仁多中		
飯南	横田中	100	2
	頓原中 赤来中		
浜田	第一中	1,362	3
	第二中		
	第三中		
	第四中		
	浜田東中		
	金城中		
	旭中		
	弥栄中		
三隅中			
大田	第一中	893	2
	第二中		
	北三瓶中		
	志学中		
江津	第三中	592	2
	大田西中		
	江津中		
川本	江東中	62	
	青陵中		
美郷	桜江中	104	2
	川本中		
邑南	羽須美中	226	2
	瑞穂中		
益田	石見中	1,222	3
	益田中		
	高津中		
	益田東中		
	東陽中		
	鎌手中		
	真砂中		
	横田中		
	西南中		
	小野中		
津和野	中西中	129	2
	美都中		
吉賀	匹見中	136	2
	津和野中		
	日原中		
隠岐の島	柿木中	347	2
	吉賀中		
	六日市中		
海士	蔵木中	35	1
	西郷中		
西ノ島	西郷南中	50	1
	五箇中		
知夫	都万中	22	1
	西ノ島中		
合計		17,564	40

国の調査項目一覧

校長対象	全教員対象	生徒対象	保護者対象	全ての部活動指導者対象
		学校種別	学校種別	
生徒数男子名女子名(実数)	性別・年齢	性別・学年		性別・年齢
教員数	通算勤続年数年(実数)	運動部に所属しない最大の理由	部活動の位置づけ	所属
運動部・文化部の設置数	現職	部活動で参加した大会・コンクール数	活動方針等の説明会に参加	現在の部活動
休部・廃部の原因	現在の学校に赴任後の経過年数年(実数)	いつ朝食を食べる	顧問が実技指導を十分に行えない場合	時間当たりの報酬額
生徒の部活動への所属方針	教員による部活動顧問の配置に関する考え	1ヶ月以内にケガや病気	持続可能な部活動に向けた在り方	専門の実技の指導経験年数年(実数)
未設置の部活動希望への対処	生徒の部活動所属・複数所属に関する考え	顧問以外の指導者から受けたい	部活動の保護者会等	最も優秀な成績
複数の部所属希望への対処	部活動の在り方に関する考え	生徒・保護者共通項目		現在指導している競技の競技経験
創部・休部・廃部のきまり	通算担当年数			部活動の所属状況 所属部活動(運動部・文化部)
複数校合同部の設置部数	運動部顧問の通算担当競技種目数	好ましいの活動日(平日・土日・長期休業期間) 好ましいの活動時間(平日・土日・長期休業期間)	部活動の最大の目的・期待すること 部活動で良いと思う点 部活動や学校生活での悩み	現在指導している競技種目の指導者資格
部活動顧問教員の配置方針	部活動顧問会議への参加			スポーツのその他の指導者資格
運営方針の保護者への説明	担当顧問の運動部・文化部			研修会・講習会への参加実績
校長・全教員共通項目 平日の部活動に関するきまり 休日の部活動の時間に関するきまり 長期休業期間における部活動に関するきまり 部活動に関する課題・悩み 大会・コンクールに参加する際の移動手段 外部指導者を活用した効果・課題 部活動指導員等に求める要件		部活動の時間が短くなったとしたら	この1年間に部活動で参加した大会数・好ましい数	スポーツ医・科学の情報の入手
		どのような条件で運動・スポーツを行いたい	参加した大会・コンクールで最も優秀な成績	外傷・障害を予防するための知識
対外試合や合同演奏会等の実施日数に関するきまり	部活動の指導で重視している点	学校以外のスポーツ活動	顧問教員と外部指導者との連携	現在指導している部活動の活動経験
合宿の実施日数に関するきまり	主担当の運動部の競技種目・文化部の種別	学校以外のスポーツ活動を選んだ理由		現在の部活動の大会出場・参加経験
部活動顧問会議における議題・開催頻度	主担当顧問としての意欲	地域のクラブが参加することになったら		現在の文化芸術の指導者資格
部活動の実態の把握方法	主担当顧問の実技指導への関与	参加した大会・コンクールで最も優秀な成績		現在指導している部活動
部活動に係る予算	自身の競技経験・活動経験			指導している部活動の部員数
部活動の会計管理方法	指導者資格			現在の部活動の顧問の人数
移動手段に要する経費	研修会や講習会への参加			顧問以外の部活動指導員等の人数
複数校合同部の地区大会の参加	スポーツ医・科学の情報を得る方法(運動部)			部活動の指導曜日
大会参加可能時の複数校合同部の設置	外傷・障害を予防するための知識(運動部)			平日1日当たりの指導時間
地域のスポーツ・文化団体との連携	実技指導			土・日の指導頻度
校外公共施設の利用実績	運営方針の保護者への説明			土・日の指導時間
将来性ある生徒と関係団体との連携	部活動に係る予算・会計管理方法			長期休業期間の指導日数
運動部活動指導員の配置・活用	副担当運動部			長期休業期間の指導時間
文化部活動指導員の配置・活用	副担当運動部の競技種目			対外試合等・合宿の年間指導日数
週当たりの指導日数	実技指導			部活動の指導で特に重視している点
平日1日当たりの指導時間	担当活動種別の顧問通算年数年(実数)			部活動の顧問等との連携
休日1日当たりの指導時間	担当活動種別の顧問通算年数年(実数)			部活動の指導に関する課題や悩み
1時間当たりの報酬額(部活動指導員・外部指導者)	自身の選手としての大会出場経験			好ましいと思う週の活動日数
部活動指導員等を配置・活用の理由	副担当文化部			好ましいと思う1日の活動時間
外部指導者を活用できない理由	副担当文化部の種別			好ましいと思う休日の活動日数
部活動指導員の配置の効果	対外試合等や合宿の日数			好ましいと思う休日の活動時間
部活動指導員の配置の課題	自身の選手としての大会出場経験			好ましいと思う長期休業期間の活動日数
部活動指導員と担当教員との連携	担当競技種目の顧問通算年数年(実数)			好ましいと思う長期休業期間の活動時間
部活動指導員を配置できない理由	顧問として参加した大会で最も優秀な成績			好ましいと思う対外試合等・合宿の年間実施日数
	他の団体との連携			学校教育や部活動の知識の習得
	複数校合同部の地区大会への参加			把握・習得しておきたい知識
	移動手段の経費			指導内容等の保護者への理解
	地域スポーツ・文化団体との連携			
	校外の公共施設の利用			
	将来性ある生徒と関係団体との連携			
	部活動指導者の活用・要望			
	部活動指導員の配置の課題			
	部活動指導員との連携			
	部活動指導員を配置できない理由			
	外部指導者との連携・活用できない理由			
	スポーツ・文化関係団体への関わり			
	役員・スタッフに関わる日数			

一覧表の見方
・塗りつぶしのない項目・・・今回、県が調査する項目

※「しませ家庭の日」の部活動について
※マイクロバスの自家用車使用について
※地域のクラブ等に所属している生徒の大会引率について

県独自の調査内容(校長)